

2005年くらいから、次世代シーケンサーと呼ばれるこれまでの常識を覆すような高出力型の機械ができました。この機械を使うとヒト全遺伝子2.2万個を一気に解析できるようになります。原因遺伝子を発見することは、その病気の発症メカニズムを解き明かすプロジェクトの鍵となるステップです。症状を抑えるための対症療法や根源的な治療法を開発することに繋がっていきます。(松本教授 談 横浜市立大学HP 教員からのメッセージより引用)

Rare variants と ヒト疾患

講師：松本 直通 (横浜市立大学大学院 遺伝学教授)

日時

平成28年9月13日 (火) 18:00~

会場

医学研究科 臨床講義棟2階 臨床大講堂

次世代シーケンサーを使ったヒト遺伝子解析における日本の中心的人物であり、Journal of Human Geneticsのチーフエディターも務めておられます。どなた様もお気軽にご参加下さい。

